

会 議 録

会議の名称	桶川市立桶川西中学校 第4回学校運営協議会	
開催日時	令和6年1月31日(水) (開会) 13:20 (閉会) 15:30	
開催場所	桶川西中学校 図書室	
出席者氏名(委員)	礒田輝昭、砂川邦夫、長島進、百瀬勉 竹花功、閑野千鶴	
欠席者氏名(委員)	土館由実、奈良太、岸敏雄、遠藤絵美	
傍聴者	0名	
議題	(1) 学校評価について	
協 議 等 要 旨	協議結果	意見の概要
	<p>○学校評価について</p> <p>・初めに、「組織・運営」「学習指導」「生徒指導・教育相談」の3領域の自己評価について説明。</p>	<p>・百瀬氏 対象人数28人に対して、6割以上をB評価とするのは妥当なのか。C、D評価を付けた職員には、コメントを求めているのか。 →「桶川市立小・中学校評価実施要領」で、評価基準の目安として、達成度6割以上8割未満をBとしている。また、C、D評価を付けた職員には、コメントを求めている。</p> <p>・砂川氏 (3)8の項目の「組織的対応や保護者との連携では課題が残った」とは、具体的にどういうことか。 →いじめ事案について、生徒への対応は適切に行ったが、保護者への連絡が事後になってしまったことがあった。</p> <p>・百瀬氏 この項目について、管理職はどう評価したのか。 →校長は最低評価とした。</p> <p>・砂川氏 いじめ問題は、「マニュアル化」や「組織的対応」で解決するものなのか。すべてのいじめを把握できるわけがない中での75%という評価は、決して悪いものではなく、職員の努力が見える数字だと思う。</p> <p>・礒田氏 「いじめゼロ」は不可能なので、「いじめの解消」を目指すことが大切である。「いじめ防止基本方針」や「生徒指導提要」に示されていることを全職員に周知して、共通理解共通行動で取り組むべきである。</p>

	<p>・次に、「健康教育」「学習環境」「教職員の資質向上」「家庭・地域との連携」の4領域の自己評価について説明。</p>	<p>・磯田氏 (1) 1の項目で、一部の教職員に仕事に偏っているのはやむを得ない事情があると思うが、負担感を減らす工夫について話し合うことも大切である。</p> <p>・長島氏 総じて良い評価だと思うので、これからも頑張ってもらいたい。</p> <p>・砂川氏 (4) 10の項目について、部活動の外部委託は進んでいるのか。 →外部委託は進んでいないが、外部指導者を申請し、指導を行っている。</p> <p>・砂川氏 教員の負担感を軽減することは大切だが、それによって部活動が衰退していくことがないように外部委託を進めてほしい。</p> <p>・百瀬氏 外部委託が進まないのはなぜか？ →国の方針で部活動の地域移行の動きはあるが、現状では外部指導員だけで部活の運営はできない。</p> <p>・百瀬氏 令和7年度の移行完了に向けて、学校運営協議会で協力できることがあればやっていきたい。</p> <p>・磯田氏 市教委も受け皿となってくれる団体と話し合いを進めており、競技によっては話が進んでいる。</p> <p>・砂川氏 個人競技なら進めやすいだろうが、団体競技は難しいと思う。</p> <p>・長島氏 (5) 13の項目について、ボランティア活動にはどんな方が参加しているのか。 →校内では、野球部が落葉掃きを自主的に行っている。PTA除草活動では、生徒、保護者、学校応援団のほかに、川田谷区長会の皆さんにも参加していただいた。</p> <p>・砂川氏 来年もぜひ協力したい。</p>
<p>配付資料</p>	<p>(1) 次第 (2) 第3回会議録 (3) 学校評価結果報告</p>	

